

教員養成に係る教育の質的向上に向けた取組

本学における取組状況は以下のとおり。

1) 京都市教育委員会 総合教育センター 教員養成支援室では、「教師になろう」という高い意志と情熱・行動力に溢れる学生に対して、大学で身につけた専門的な知識を基盤として、京都市の教員の熱意溢れる取組や理念、市民ぐるみの教育実践に直接触れ、教員として求められている資質や実践的指導力に磨きをかけることの機会として、「京都市教師塾」(①京都市教育学講座、②京都市立学校実地研修、③授業実践講座、④フィールドワーク)を開講している。このような取り組みに関しては、本学でも、学生に広く案内し、現場での知見の重要性を訴えながら、課題となる実践的指導力を育成しようと努めている。

2) 高大連携の一環として本学協定校からの依頼に基づき、教員志向の強い本学学生のなかから、派遣先学校の校風や求められるスキルに合致した者を選抜してボランティアとして派遣している。また、本学教員の個人的なコネクションを通じて近隣の中学校・高等学校へ学生ボランティアを派遣し、教育実習とは別途、教師に求められる資質や実践的指導力を実地で養成する機会を与えている。

3) 全学的な取り組みとして、授業アンケートを期末ごとに実施し、その結果は科目担当教員にフィードバックされ、教員が講評や改善点を回答する仕組みとなっている。また集計内容を学内ウェブで公表することを通じて教員の養成に係る授業の改善に努めている。